

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (O8レストルームドレッサー専用ネオレストX(TCF9913C/CY)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。
この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タイ 1 プ) 1	(タイ 2 プ) 2	正 規 品	(タイ 1 プ) 1	(タイ 2 プ) 2
(タイ 3 プ) 3	(タイ 4 プ) 4	(タイ 5 プ) 5	(タイ 3 プ) 3	(タイ 4 プ) 4	(タイ 5 プ) 5

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

＜＜本体側の設定方法＞＞

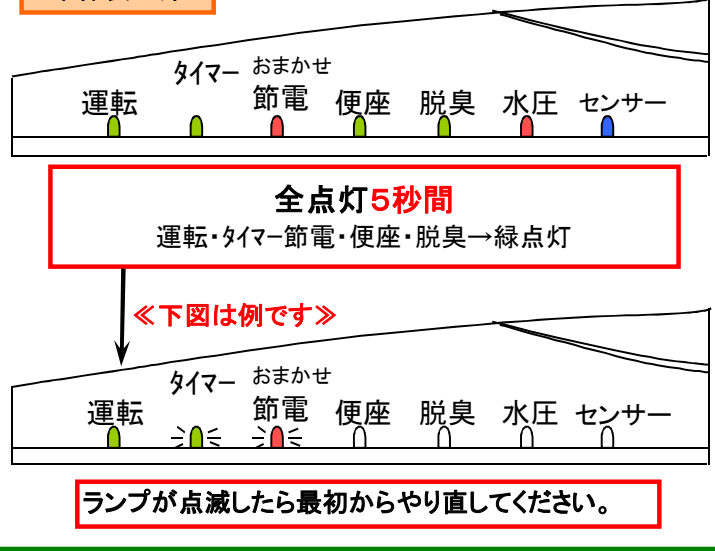
リモコン特殊コード切り替え方法(ウォッシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

1 本体操作部の **運転入/切** を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**5秒間**点灯します。

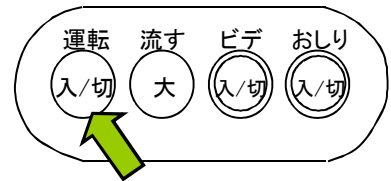
本体表示部

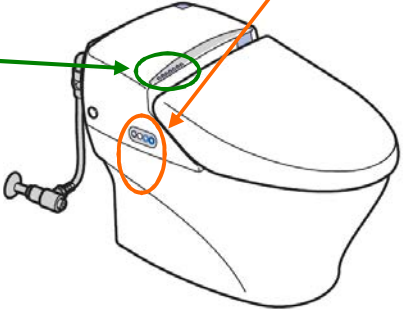


全点灯5秒間
 運転・タイマー節電・便座・脱臭→緑点灯

＜＜下図は例です＞＞

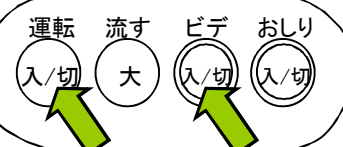
ランプが点滅したら最初からやり直してください。

本体操作部




2 運転入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(5秒間)すると、
 すぐに **ビデ入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

本体操作部


3 ※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

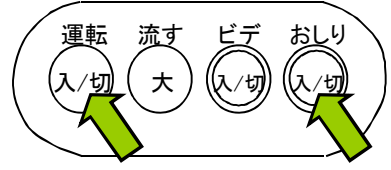
運転入/切 を押したまま、**おしり入/切** を押す。

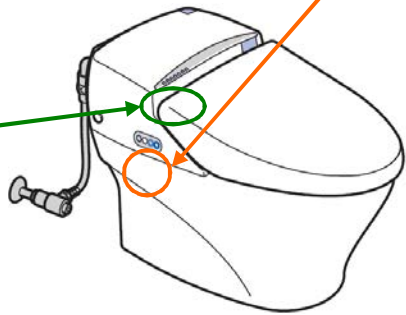
おしり入/切 を押す度に標準→特1→特2…特5→標準
 と設定が切り替わります。

本体表示部

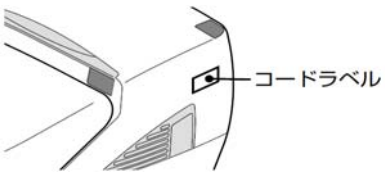
表示部		コード*					
		標準	特1	特2	特3	特4	特5
便座	●	●	●	●	×	×	
タイマー節電	●	●	×	×	●	●	
運転	●	×	●	×	●	×	

●…緑点灯 ×…消灯

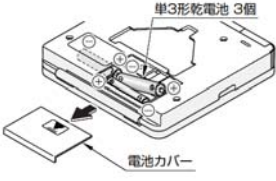
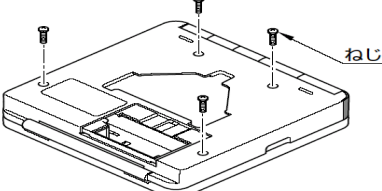
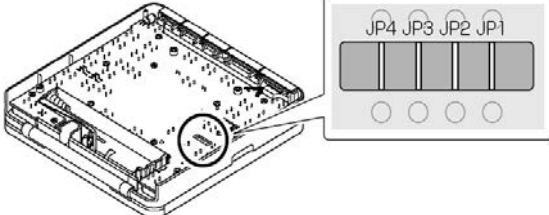
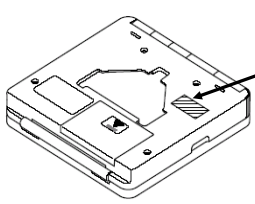
本体操作部




注意!!: 特コードを設定する場合は、特5までしか利用できませんので、特1～特5で設定を行ってください。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)	
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。 </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> 運転 入/切 </div> <div> から手を離れた時点で設定したコードになる。 </div> </div>
5		ウォシュレット本体の側面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	<p>①乾電池をはずす。</p> <p>②「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p> </div> 																																																							
2	<p>リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p> 																																																							
3	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ご注意!! ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> </div>  <p>◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1" data-bbox="239 1019 954 1205"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ジャンパ線 JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の4本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	ジャンパ線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
ジャンパ線 JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。</p> <p>②リモコンに乾電池を入れて、リモコンはリモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	<p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> </div> 																																																							

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
 ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)